

活動報告書

番号
A-1

【団体の概要】

事業名： こうち山の日 情報交流館まつり キッズフェス  
 団体名： 情報交流館ネットワーク

【活動の概要】

目的：
森林や自然に関わる団体や個人、また情報交流館の加盟団体が出展や展示、ワークショップ等を行い、日頃の活動をPRするとともに、参加者に森林の大切さ、楽しさを感じてもらい、森に親しみ、自然環境や命を大切にすることを育む事を目的とする。
内容：
ア 森づくり      イ 木使い <b>ウ</b> 森林体験と学習
・ 森林や木材等に関連した出展や展示、ワークショップを行う。 ・ 森林センターの自然を活用した自然体験を行う。 ・ 地元の特産品などを販売する。 ・ 森の音楽会を行う。
成果：
子どもとその家族に自然体験、木に関わる事、木使いを周知することができた。また森林ボランティアや地域住民との交流促進にもなり、世代間交流も活発であった。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月16日(日)		
場所：	高知県立森林研修センター 情報交流館		
日程：	時間	内容	詳細
前々日	9:00～15:00	事前準備	イス・机・テント搬入・設置・会場準備
前日	9:00～15:00	事前準備	イス・机・テント設置・会場準備
当日11/16	8:00	出店準備	
	9:55	開会式	
	10:00	開場	
		バンド演奏	山田太鼓、しんかんバンド、鳴海
			土佐スウィングメーカーズ、風音
			ミントグリーンブレス、鏡の風音
		遊びブース	たけ丸：竹のおもちゃ展示体験
			金ちゃん工房：ビンゴゲーム
			竹とんぼの会：竹とんぼ作り
			高知県森林インストラクター会：
			木の実クラフト 他
			シャボン玉、輪ゴム鉄砲 他
			高芝工房：間伐材の工作
		ヒラコラボ：木エワークショップ	

		工作体験ブース	木楽会:木工体験、木製品展示			
			月見山こどもの森:木工工作			
			木星会:木製品の展示販売			
		体験ブース	モルック体験			
			高知県シェアリングネイチャー協会: ネイチャーゲーム体験			
			森の元気!お助け隊: のこぎり体験 他			
		お食事ブース	岸本姫蔵会:からあげ・うどん 他			
			茶房古古:お弁当 他			
			男世ッ会:やきそば・やきとり 他			
			松原ミート:炭火焼ソーセージ 他			
			高知商業高等学校:土佐オールスター ☆バーガー			
			奥ものべを楽しむ会:ゆずの商品 他			
			パン工房フォンティーヌ:カレーパン他			
			畑の食堂Copan:焼き芋ブリュレ 他			
			プルメリアラクーン:わたあめ 他			
			知恵袋の会:おでん・いも天 他			
	15:00	閉会式				
翌日	9:00~15:00	片付け	イス・机・テント撤出			
参加人数:		大人 500名	子供(～17才) 500名	外部講師 名	スタッフ 120名	合計 1,120名
募集地区:		高知県全域		募集対象: 一般		
募集方法:		小学校・幼保施設へチラシ配布等 参加費等: 入場料無料(一部有料)				
マスコミ等での紹介(あれば):						
感想:						
<p>&lt;参加者&gt;※アンケートより抜粋          去年も来て、今年も楽しみに来ました。ゲームが無料だったり、他にもリーズナブルで子連れにとってもありがたくて家族で楽しめました。来年も来ます!いろいろな遊具や工作を通じて「木の温かさ」を沢山感じられる一日でした。おじいちゃんが優しい。子供が初めてクギを打ったり、のこぎりで切ったり、良い体験ができました。今年初めて来ました。自然っていいなと改めて感じました。</p> <p>&lt;スタッフ&gt; 森に親しむこのキッズフェスは工夫がこらされ、親子で楽しめる素晴らしいイベントでした。親子連れのお客さんが多く、会場に子どもたちのはしゃぐ声が広がっていました。スタッフも和気あいあいとやりやすかったです。輪ゴム鉄砲を親子で仲良く作って、的に当て喜んでる姿が印象的でした。</p>						

活動報告書

番号

A-2

【団体の概要】

事業名： ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室

団体名： 高知県シェアリングネイチャー協会

【活動の概要】

目的：

子ども達へネイチャーゲーム並びに木使い活動を通し、豊かな自然の恵みや自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。

内容：      ア 森づくり      **イ** 木使い      **ウ** 森林体験と学習

自然体験活動（環境教育）プログラムであるネイチャーゲームアクティビティを実施し、こどもたちの豊かな心や生きる力を育む。自然物を使ったクラフトの実施。

成果：

- ・ 自然への理解や植物への興味をかきたてた。
- ・ 落ち葉の観察。落ち葉の色の違いについて興味をもつ。
- ・ 観察力を養う。擬態や保護色適応について学んだ。
- ・ 地域や異年齢交流による心の醸成。
- ・ 活動を通じてこどもたちの豊かな心を育んだ。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年8月30日（土）				
場所：	高知市 かるぼーと				
日程：	時間	内容		詳細	
8月30日	10:00～16:00	・ネイチャーゲーム		いきものパズル、生き物探しなど	
		・ネイチャークラフト		壁飾りの作成	
参加人数：	大人 20 名	子供（～17才） 30 名	外部講師 名	スタッフ 5 名	合計 55 名
募集地区：	高知市		募集対象： こども、おとな		
募集方法：	チラシ、ホームページ		参加費等： 無料		
マスコミ等での紹介（あれば）：	がんばれこうちエコ応援団				
感想：					
<参加者>	生き物の勉強になった。				
<スタッフ>	多くの方に楽しんでいただいた。				

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年10月25日（土）～26日（日）				
場所：	高知市工石山青少年の家				
日程：	時間	内容		詳細	
10月25日	9:30～10:30	高知駅→工石山青少年の家		バス移動	

	10:30～12:00	ネイチャーゲーム等	ノーズ、生きものヒントリレー等
	12:00～	昼食(お弁当)	
	13:00～	ネイチャーゲーム等	落ち葉の窓、秘密の宝箱、カモフラージュ等
	17:00～	夕食	
10月26日	7:00～	朝食	
	11:00～	木エクラフト	
	12:00～	昼食	うどん作り
	13:00～	移動	
	13:30～	ゆず収穫体験・講話(土佐山の自然環境とゆず)	
	14:00～	施設退所	
参加人数： 大人 3 名 子供(～17才) 5 名 外部講師 2 名 スタッフ 10 名 合計 20 名			
募集地区： 高知市		募集対象： こども、おとな	
募集方法： チラシ、ホームページ		参加費等： こども：5,000円、大人：6,000円	
マスコミ等での紹介(あれば)：			
感想： <参加者> 生き物の勉強になった。 <スタッフ> 多くの方に楽しんでいただいた。			

#### 【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月9日(日)		
場所：	甬喜ヶ峰森林公園		
日程：	時間	内容	詳細
11月9日	9:00～15:00	・ネイチャーゲーム ・クリスマスリース作り ・ナチュラルツリー	生きものさがし、生きものパズル
参加人数： 大人 5 名 子供(～17才) 5 名 外部講師 1 名 スタッフ 7 名 合計 18 名			
募集地区： 高知市		募集対象： こども、おとな	
募集方法： チラシ、ホームページ		参加費等： ネイチャーゲーム無料、リース500円、クラフト100円	
マスコミ等での紹介(あれば)： がんばれこうちエコ応援団			
感想： <参加者> 生き物の勉強になった。楽しかった。 <スタッフ> 天候が悪く、参加者が少なかったが、ゆったりとした時間を提供できました。			

#### 【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月16日(日)		
場所：	情報交流館		
日程：	時間	内容	詳細
11月16日	9:00～15:00	・ネイチャーゲーム	森の美術館、カモフラージュ

		・ナチュラルツリー	
		・木のペンダント	
参加人数：	大人 75 名	子供(～17才) 75 名	外部講師 2 名
			スタッフ 7 名
			合計 159 名
募集地区：	高知市		
募集方法：	チラシ、ホームページ		
	参加費等：ネイチャーゲーム無料、クラフト100円		
感想：			
＜参加者＞			
生き物の勉強になった。楽しかった。			
＜スタッフ＞			
ゆったりとした時間を提供できました。			

### 【実施プログラム】

実施年月日：	令和8年1月24日(土)		
場所：	佐川おもちゃ美術館		
日程：	時間	内容	詳細
	1月24日 12:00	集合、打合せ	
	13:30～14:10	ネイチャーゲーム	ノーズ、私は誰でしょう
	14:10～14:30	竹の万華鏡づくり	
参加人数：	大人 7 名	子供(～17才) 10 名	外部講師 名
			スタッフ 5 名
			合計 22 名
募集地区：	高知市		
募集方法：	チラシ、ホームページ		
	参加費等：無料		
感想：			
＜参加者＞			
生き物の勉強になった。楽しかった。			
＜スタッフ＞			
天候が悪く、参加者が少なかったが、ゆったりとした時間を提供できました。			

活動報告書

番号

A-3

【団体の概要】

事業名： ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室

団体名： 甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会

【活動の概要】

目的：

子ども達へネイチャーゲーム並びに木使い活動を通し、豊かな自然の恵みや自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。

内容：      ア 森づくり      **イ** 木使い      **ウ** 森林体験と学習

- ・自然体験活動（環境教育）プログラムであるネイチャーゲームアクティビティを実施し、子どもたちの豊かな心や生きる力を育む。
- ・木のいすづくりを実施することにより、木に触れ木に親しみを持つ心を育むとともに使用されている木がどのような工程を経て生み出されたのかのはなしなどを行う。
- ・門松づくりを通して、日本文化の理解と関心を高める。竹に触れ、竹に関心を持つとともに、利活用することで、竹林整備につながる事を知ってもらう。

成果：

- ・自然への理解や植物への興味をかきたてる。星空観察を通して星や星座に興味を持つ。
- ・観察力の向上。
- ・木に触れ木に親しみを持つ。木が木材になるまでの理解を深める。
- ・竹に触れ竹に親しみを持つ。日本文化の理解と関心を高める。
- ・地域や交流の活性化。
- ・地域や異年齢交流による心の醸成。
- ・活動を通じて子どもたちの豊かな心を育む。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年7月20日（日）		
場所：	長岡郡本山町本山 帰全山公園		
日程：	時間	内容	詳細
7月20日	16:30～17:00	・ネイチャーゲーム	ヒントリレー
	17:00～17:30	・ネイチャークラフト	
	17:30～18:30	夕食	
	18:30～19:30	・ネイチャーゲーム	サンセットウォッチ
	19:30～20:00	・星空観察	
	20:00～	解散	
参加人数：	大人 12 名	子供（～17才） 9 名	外部講師 名
			スタッフ 7 名
			合計 28 名
募集地区：	高知市周辺	募集対象：	こども・おとな
募集方法：	わいわいくじら、HP、公式LINE	参加費等：	参加費2,000円、幼児無料
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想：			

<参加者>  
星座のお話を詳しく聞いて良かったです。

<スタッフ>  
帰全山公園の森や星空を満喫できました。

### 【実施プログラム】

実施年月日:	令和7年11月29日(土)				
場所:	長岡郡本山町本山 帰全山公園				
日程:	時間	内容	詳細		
11月29日	9:00	集合・準備			
	9:30~10:00	受付開始			
	10:00~10:05	あいさつ			
	10:05~10:30	・ネイチャーゲーム	タッチタッチ・生きものヒントリレー		
	10:30~12:00	・どうぞのいすづくり			
	12:00~13:00	昼食			
	13:00~13:40	・森の演奏会			
	13:40~14:00	・わかちあい			
	14:00~	終了・片付け			
参加人数:	大人 7 名	子供(~17才) 4 名	外部講師 3 名	スタッフ 5 名	合計 19 名
募集地区:	高知市周辺		募集対象: こども・おとな		
募集方法:	HP、公式LINE		参加費等: 参加費2,000円、幼児無料		
マスコミ等での紹介(あれば):	RKCラジオ				
感想:					
<参加者>	山の中でのネイチャーゲーム、工作など楽しかった。				
<スタッフ>	森の中でネイチャーゲームやいすづくりを楽しんでいただけた。 森の演奏会は広く参加をよびかけて、多くの方に参加いただけました。				

### 【実施プログラム】

実施年月日:	令和7年12月20日(土)				
場所:	南国市大堀 南国市土曜市				
日程:	時間	内容	詳細		
12月20日	8:00	集合・準備			
	9:30~随時	門松づくり			
	10:05~10:30	・ネイチャーゲーム			
	14:00~	終了、片付け			
参加人数:	大人 7 名	子供(~17才) 3 名	外部講師 1 名	スタッフ 5 名	合計 16 名
募集地区:	高知市周辺		募集対象: こども・おとな		
募集方法:	HP、公式LINE		参加費等: 参加費500円/1個		
マスコミ等での紹介(あれば):					
感想:					

<参加者>  
 また、来年もやってほしい。  
 <スタッフ>  
 大人の方に多く楽しんでいただきました。子供連れの方も親子で楽しめました。

**【実施プログラム】**

実施年月日:	令和7年12月27日(土)				
場所:	南国市大桶 南国市土曜日				
日程:	時間	内容		詳細	
12月27日	8:00	集合・準備			
	9:30~随時	門松づくり			
	10:05~10:30	・ネイチャーゲーム			
	14:00~	終了、片付け			
参加人数:	大人 9 名	子供(~17才) 3 名	外部講師 1 名	スタッフ 5 名	合計 18 名
募集地区:	高知市周辺		募集対象: こども・おとな		
募集方法:	HP、公式LINE		参加費等: 参加費500円/1個		
マスコミ等での紹介(あれば):					
感想:					
<参加者> また、来年もやってほしい。 <スタッフ> 大人の方に多く楽しんでいただきました。子供連れの方も親子で楽しめました。					

## 活動報告書

番号

A-4

事業名： 里山整備&親子自然体験推進事業

団体名： アジロ山の自然と環境を守る会

### 【活動の概要】

目的：

豊かな森の中で子どもや市民が安心して自然体験が出来るよう、ボランティアの支援も受け、草刈り、暗くなった森の除間伐、遊歩道のロープの張り替えなどを行う。「森」の中を安心して散策し、自然の素晴らしさを体感したり「感性」を豊かにしてもらう事が目的です。

内容：     (ア) 森づくり     (イ) 木使い     (ウ) 森林体験と学習

10月の森のようちえん前準備では、大型舞台の腐食を防ぐため、塗装の塗り替え作業を行いました。

当日は天候も回復し、森に入って「ノコギリ体験」を実施しました。

朝方までの本降りの雨の影響で参加者は少なめでしたが、高知大(2回生)3名も参加し、親子連れを始めとした20名で森に入りました。「あっ、ドングリだ～！キノコだ～！ミミズもいるよ～！」と子ども達の歓声が響く中、目的地に到着。スタッフのおじさんから「手ノコ」の使い方を教わり、元気な子供達は早速「ノコギリ体験」に挑戦し、慣れない手つきでチャレンジしました。最初はノコが曲がったりして苦戦しましたが、真っ直ぐ引けるようになり切った木が倒れると大喜び。面白くなり何本も切る子供がいました。体験の後は「ツリーハウス」まで登り、お城下を眺め景色を堪能した後は、シダの葉飛ばしにも挑戦して楽しみ、午後は竹の貯金箱づくりなどクラフト体験を行いました。

1月の森のようちえんの前準備では、ツリーハウス周辺の灌木類の除間伐、立ち枯れ状態となっていた桜の木や、根元から萌芽してきている灌木類などの脇芽の除去、主体萌芽した枝の除去を、危険作業なので「こうち森林救援」に委託して行いました。遊歩道の古くなったロープ交換作業も実施しました。

また、前日に森の見回りと焼きいもの「囲炉裏」を薪で焼き、砂利を温めました。

当日は火を見る事の少ない子どもたちと焼き物を準備しました。「芋」を新聞紙で包み、水で濡らしてアルミホイルで包み、火の中に。焼けるのを楽しみにしながら、元気に「山」に入りました。落ち葉やブランコで遊んだり、ツリーハウスに登ったりして「アジロ自然の森」で楽しみました。

70個を超す「芋」は、スタッフの苦勞の甲斐があり美味しく、下山した子ども達は喜んで食べていました。

たき火を見る機会が少ない子ども達と「たき火」大切さや危険性を知ってもらう機会となりました。

午後は、森の恵みである「竹」を使った竹太鼓や小枝のストラップ作りを行いました。

成果：

イベント前には遊歩道の点検と遊具のチェックを行い、安心して行事が出来る様にしています。森を散策した参加者等からも、明るく安心して「山」に登れると喜ばれました。

古いペンキを剥がして塗るのも手間がかかり大変でしたが、綺麗になり一安心です。

目に見えない前準備の「クラフト」の材料作りは一苦勞ですが、子ども達の元気な笑顔を見れば疲れも吹き飛びます。

「ノコギリ体験」「焼きいも体験」を通した豊かな親子自然体験推進事業で、子どもたちは生き生きと「自然」にふれ、「森」の落ち葉・どんぐり・生き物と出会い、また遊びに来たいと大喜びでした。

「自然体験」の出来る機会を増やし、「山」を守り育てる事の大切さを一人でも多くの子供達に知ってもらいたいです。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年10月15日（日）		
場所：	アジロ自然の森（高知市朝倉己1152-24）		
日程：	時間	内容	詳細
	9:30	受付	
	10:00	スケジュールと注意事項・スタッフの紹介	
	10:10	ノコギリ体験の森へ移動	ノコギリで暗い森の樹木を切る
	12:00	お昼	
	13:00	クラフト体験	小枝のストラップ、竹の貯金箱
	14:30	終了	
参加人数：	大人 5 名	子供（～17才） 8 名	外部講師 名
			スタッフ 10 名
			合計 23 名
募集地区：	県下	募集対象：	「自然体験」に関心のある親子
募集方法：	チラシ・リピーターへのメール等 参加費等：1人 200円		
マスコミ等での紹介（あれば）：	RKCラジオ・暮らしの情報社・学びの広場・えこらぼ等		
感想：	<p>&lt;参加者&gt; ノコギリの使い方を教わって良かった。木の倒れる音にビックリした。木を切ると周囲が明るくなり嬉しかった。もっとデッカい木を切りたくなった。ノコギリ体験は大人気で大人も楽しい。森の中で一日遊ぶ行事を企画しては。森で弁当を食べ読み聞かせをしてほしい。</p> <p>&lt;スタッフ&gt; 悪天候の中参加してくれた親子に感謝。地元外学生の参加は嬉しい。学生が参加するとイベントが明るくなる。</p>		

【実施プログラム】

実施年月日：	令和8年1月18日（日）		
場所：	アジロ自然の森（高知市朝倉己1152-24）		
日程：	時間	内容	詳細
	9:30	受付	
	10:00	開会挨拶	
	10:15	スケジュールと注意事項・スタッフの紹介	
	10:20	焼き芋の準備 森の散策	
	12:00	お昼	焼き芋を食べながら昼の食事
	13:00	クラフト体験	小枝のストラップ
	14:30	終了	
参加人数：	大人 15 名	子供（～17才） 19 名	外部講師 名
			スタッフ 15 名
			合計 49 名
募集地区：	県下	募集対象：	「自然体験」に関心のある親子
募集方法：	チラシ・リピーターへのメール等 参加費等：1人 200円		
マスコミ等での紹介（あれば）：	RKCラジオ・暮らしの情報社・学びの広場・えこらぼ・がんばれ高知eco応援団		
感想：			

<参加者>

ゆっくりと自然を観察をし山に登り運動でき大満足顔でした。今日一日親子で外で過ごせて良かった。自然の中に遊具がありブランコで楽しんだ。火の付け方、たき火の注意事項、火を危険性、水を駆けてきちんと消す事など教わり良かった。芋を新聞紙に包みホイルに包んで火の中に入れる体験が出来た。楽しい森の散策をして、美味しい「焼きいも」が食べれて良かった。みんなの焼きいもを焦がさずに焼くのはすごい。お芋の美味しさを初めて知った。焼きいもを世話してくれた叔父さんに感謝です。

<スタッフ>

河原で砂利を取ってきたり囲炉裏を焼いたり大変だが子供の笑顔で苦労を忘れる。ストラップを作りは準備が大変だが喜ばれるとやめれない。



<スタッフ>

今年もとても楽しく過ごさせていただきました。来年も楽しみにしています。毎年、このイベントが楽しみです。木の椅子を作るのが楽しみ「トントンする」とわくわく顔の子どもたち。かんなくずを触りながら「とてもいい香り。癒されますね。」「これは何ですか？どんな効果がありますか？」等と興味をもった声や、のこぎり体験ができて嬉しい等、とても嬉しい声をたくさんいただきました。。かんなくずや、木に触れている子供たちの楽しそうな顔が印象的でした。私たちが長い年月かけ愛情を持ち育てたヒノキを、感じてもらうことで思いが少し伝わった気がします。これからも、木に触れること、感じること等と共に、森林組合だからこそできるイベントとして精進していきます。

活動報告書

番号
A-6

【団体の概要】

事業名： 2025ふなと四万十川源流点ウォーキング  
 団体名： 船戸活性化委員会「四万十川源流点」

【活動の概要】

目的：
四万十川源流域の豊かな自然環境の中を地元ガイドと共にウォーキングすることにより、里山の文化と保全活動を理解していただくことを目的とする。
内容：
㊦ 森づくり      ㊦ 木使い      ㊦ 森林体験と学習 ・ 散策コースの事前整備（古道・木馬道の復元 追合の滝周辺整備） ・ ウォーキングの実施（満天の星から源流点まで往復16キロ） ・ 薪割り体験
成果：
今回はウォーキング終了後、薪割り体験を行った。初めての方も多く興味をもっていただいたが、全体的には参加された方が少なかった。 昼食はせいらんのお弁当に加え、活性化委員会でも豚汁を作り、参加者に喜ばれた。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月8日（土）		
場所：	高知県高岡郡津野町船戸地内 満天の星・四万十川源流点・集落活動センターふなと		
日程：	時間	内容	詳細
11月2日		古道整備	作業員11名
11月8日	8:30	開会セレモニー	満天の星本社駐車場 集合
	8:50	ウォーキング出発	堂海公園出発者 車で移動9:00
	11:00	四万十川源流の碑到着 源流点折り返し	
	12:30	昼食	場所：集落活動センターふなと
		薪割り体験	
	13:30	秋の例祭津野山古式神楽・ 船戸花取り踊り鑑賞	場所：河内五社神社
		自由解散	
参加人数：	大人 26 名	子供（～17才） 1 名	外部講師 3 名 スタッフ 14 名 合計 44 名
募集地区：	高知県内      募集対象：ウォーキング可能な方		
募集方法：	津野町HP・チラシ・新聞      参加費等：一人2,000円		
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想：			
<参加者>	はじめて参加したが楽しかった。来年もぜひ行ってもらいたい。スタッフの皆さんに良くしていただいて良かった。		
<スタッフ>	今年は外国の人も参加され、楽しまれていたように思う。		

活動報告書

番号
A-7

【団体の概要】

事業名： ひのみこアウトドアフェス2025

団体名： 株式会社ラフディップ

【活動の概要】

目的：

日ノ御子河川公園キャンプ場は香美市の美しい自然を体験できる場として、年間を通して県内外から多くの人々が訪れます。その清流と香北の自然を楽しみ、感謝するイベントを行い、多くの人に香美市の魅力と森林（自然）の魅力を感じてもらうことを目的とする。

内容：      ア 森づくり      イ 木使い      ウ ①森林体験と学習

【ひのみこアウトドアフェス】

香美市香北町の自然を活かした、アクティビティとマルシェのイベント。

【アクティビティ・体験】

ボルダリング、SUP、パックラフト、スラッグライン、ブッシュクラフト、マウンテインバイク、ロープクライミング、コーヒードリップ体験、テントサウナ体験

【今回の目玉イベント】

佐川おもちゃ美術館（木のおもちゃ、ワークショップ）、竹のブランコ、竹のジャングルジム木製のおもちゃや竹の遊具を設営して、子どもたちに自然物に触れて遊ぶ体験を提供することで、身近な自然の活用法や自然を大切に思う心を育んでもらうことを目的に実施。

【当日の様子】 イベント前から天気予報がコロコロと変わり、実施するかどうかの判断が非常に難しかった。当日は11時ごろから雨が降り始め、目標としていた集客には到底及ばなかったが、佐川おもちゃ美術館やアンケートや会場マップをQRコードにするなど、新しい取り組みも行い、良かった面、悪かった面、それぞれあるが、雨天時のアウトドアイベントを開催した経験を今後につなげていきたい。

成果：

- ・ 佐川おもちゃ美術館との協力体制構築。今後のイベントなどでも連携していきたい。
- ・ 木の玩具や竹のブランコやジャングルジムなど、子どもたちに自然物に触れて遊ぶ体験を提供できた。
- ・ 雄大な自然の中で冒険心をもって挑戦する機会を提供できた。
- ・ 4回目となる本イベントを継続し、発展させていくことで、地域振興や地域の人々の絆がより強くなったと感じることができた。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年10月25日(土)		
場所：	日ノ御子河川公園キャンプ場及びその周辺		
日程：	時間	内容	詳細
10月25日(土)	9:00	一部体験スタート	物部川エリア、林内で実施
	10:00	開会式	
		インスタライブ配信	
	15:00	イベント終了	
	17:00	片付け終了	
参加人数：	大人 150 名	子供(～17才) 200 名	外部講師 16 名
	スタッフ 11 名	合計 377 名	
募集地区：	香美市香南市南国市高知市 募集対象：		

募集方法： チラシ配布・SNSなど

参加費等： 入場無料・一部実費有

マスコミ等での紹介（あれば）：

感想：

<参加者>

・雨なのでお客さんが少なかったのが勿体ないですね！始まりから終わりまでとても楽しく雰囲気も良く過ごせました☺トイレもゴミ箱も整備されてて使いやすいし、おもちゃ美術館が来たので子どもたちも雨の間楽しく過ごせました。

・ぜひイベントを継続してほしい。

<スタッフ>

・判断に迷う天気の場合、チラシに「雨天中止」と書いていることで、客足が遠のいたと思う。

・イベントの規模感を見直した方が良い。

## 活動報告書

番号

A-8

### 【団体の概要】

事業名： 土佐塩の道整備体験～ 古道の修理を通して、自然環境や昔の暮らしを知ろう～

団体名： 土佐塩の道保存会

### 【活動の概要】

目的：

- ①「塩の道」を通して森林環境に意識を向ける。
  - ② 古道を守ることで山間部の環境と集落を維持し、歴史と文化を次世代に繋ぐ。
  - ③ 整備体制の構築。塩の道の関係、交流人口(応援団)を増やす。
  - ④ 地域間の連携(香南市、香美市、沿道集落)、横の繋がり。
- ※「土佐塩の道」は、香美市～香南市の森林の中を通るかつての産業道である。時代とともに消えた道を約20年前に地元の有志(元保存会)がウォーキング道として再生し、現在はイベント等で地域振興のフィールドとして活用されている。年々認知度も上がり、イベントの参加者も増加しているが、古道を維持している保存会は高齢化、沿線集落は衰退の一途をたどっている。「塩の道」を守ることは、沿線地域の環境、暮らし、文化を未来に繋げる伏線として、体制構築のための勉強会と整備体験を実施する。

内容： ア 森づくり イ 木使い ウ 森林体験と学習

- ① 塩の道の歴史、土佐塩の道保存会の活動、当該地域の森林環境について学ぶ。
- ② 塩の道のコース上で、堆積した枝葉や土砂を清掃する作業を体験する。
- ③ 昼食でジビエ料理を食べ、山林における獣害の現状、課題について考える。
- ④ 自衛隊による訓練を兼ねた塩の道の活動支援、塩の道の今後の展望を知る。

成果：

- ① 土佐塩の道とそれを包含する地域の自然環境に対する興味関心を醸成できた。
- ② 自然豊かな古道である土佐塩の道の活用および保全の意義について共感が得られた。
- ③ 在住地域、市町村、所属団体の枠組みを超えて連携、交流する機会を創出できた。
- ④ 土佐塩の道保存会の会員が世代間で交流し、今後の体制を強化する機会になった。
- ⑤ 今後の整備活動について、開催や参加の要望を可視化できた。

### 【実施プログラム】

実施年月日：	令和8年1月17日(土)		
場所：	奥物部ふるさと物産館(香美市物部町)～物部町の塩の道		
日程：	時間	内容	詳細
	8:30～9:00	会場へ集合、受付	
	9:00～9:10	主催者挨拶	
	9:10～9:25	土佐塩の道のDVD視聴	「塩の道を再興させるきっかけ」と「土佐塩の道保存会の活動」に関するアニメを視聴。
	9:25～10:10	高知中部森林管理署の講話	①物部地域の山や生き物など自然環境の特徴 ②講師と塩の道との出会い及びこれまでの活動
	10:10～10:30	参加者自己紹介、意見交換	3班に分かれて、それぞれ自己紹介及び講話について意見交換。

	10:30 ~ 10:40	中谷川登り口へ移動	バスで中谷川へ移動、山の神へ安全祈願、整備体験・ガイドをスタート。
	10:40 ~ 13:00	ガイドしながら整備体験	3班に分かれて、各班の整備担当箇所へ移動。到着次第、塩の道のコースに堆積した枝葉や土砂を、熊手やツルハシを使用して清掃。臼杵店屋跡や七浦往還など所々ガイドを実施。作業後、庄谷相休憩所へ移動。
	13:00 ~ 14:00	ジビエBBQの昼食	講話で説明した害獣駆除の視点から、鹿肉はBBQに、猪肉が汁物に使用。
	14:00 ~ 14:30	自衛隊の地域貢献の紹介、	陸上自衛隊高知駐屯地から、土佐塩の道の整備やイベントの運営などの支援と訓練の関係について紹介。 今後の展望として、笹～矢筈の祖谷へ繋がる旧塩の道の再興について保存会から紹介。
	14:30 ~ 14:40	アンケート、休憩など	アンケート記入、トイレ休憩、集合写真を撮影。
	14:40 ~ 15:00	国道へ移動、バスで集合場所へ移動、解散	庄谷相休憩所から国道へ徒歩移動、バスで奥物部ふれあいプラザへ移動して解散。
参加人数:	大人 28 名	子供(~17才) 0 名	外部講師 1 名
	スタッフ 26 名	合計 55 名	
募集地区:	主に高知県下全域、一部県外		募集対象: 塩の道ウォーキング参加者および塩の道や環境に興味のある人
募集方法:	チラシの配布、保存会のSNS、香美市・香南市の広報、過去イベント参加者へのDM、いこうち！のHP	参加費等:	1,000円(昼食代)
マスコミ等での紹介(あれば):		高知新聞、テレビ高知(2社とも当日の様子)	
感想:			
<p>&lt;参加者&gt;  整備は実際に体験して、大変さがよくわかりました。文化を守るための取り組み、これからも少しでも関わる機会があれば参加したいです。(その他別添資料参照)</p>			
<p>&lt;スタッフ&gt;  ガイドや30kmうおーくなど歩くイベント以外で整備についても注目度の高さを実感できた。今後も整備イベントを実施して欲しいと参加者から要望多いため、小規模で複数回の企画を検討したい。</p>			

活動報告書

番号

A-9

【団体の概要】

事業名： ヤイロチョウの日<8月16日>記念こども交流広場

団体名： 公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

目的：

県の鳥、四万十町の鳥に指定されているヤイロチョウについて学び子どもたちが交流を深めるイベントを開催する。

内容： ア 森づくり      イ 木使い      ㊦ 森林体験と学習

8月16日（土）窪川駅発着の四万十ヤイロチョウの森へバスツアー

ヤイロチョウの森のウォーキングトレイルを散策しながら、講師から植物や野鳥について学び、自然観察を楽しんだ。

8月17日（日）窪川四万十会館で絵画・工作教室、ロビーでパネル展・ホールで学習会やクイズやヤイロチョウの歌など音楽イベントの実施。

鳥類・植物・土壌動物などを楽しく学び、夏休みの自由研究となるよう専門家がサポートをした。

成果：

1日目は、東京、和歌山市、土佐清水市や室戸方面の親子が参加された。ヤイロチョウや森の生態系の仕組みについて現地学習や室内で学習し理解を深め、合わせて夏休みの自由研究のお手伝いできた。

2日目は、30人くらいの親子が参加された。

ヤイロチョウや森の生態系の仕組みについて現地学習や室内で学習し理解を深め、合わせて夏休みの自由研究のお手伝いできた。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年8月16日（土）				
場所：	ネイチャーセンター、ヤイロチョウの森				
日程：	時間	内容	詳細		
8月16日	9:00	窪川出発(貸切バス)			
	9:40~10:30	ネイチャーセンターで学習	ビデオや教材を使ってヤイロチョウの理解を深める。		
	10:30~11:00	バス移動	ヤイロチョウの森		
	11:00~15:00	森の散策 植物や野鳥について学習 昼食	植物講師：鴻上泰 野鳥・生きもの講師：吉川貴臣		
	15:00~16:00	バス移動			
	16:00	窪川駅で解散			
参加人数：	大人 10 名	子供(～17才) 8 名	外部講師 2 名	スタッフ 3 名	合計 23 名
募集地区：	高知県内を中心に全国からも有り 募集対象：子どもと保護者				
募集方法：	チラシの配布、ホームページなど 参加費等：無料				
マスコミ等での紹介（あれば）：	読売新聞、四万十ケーブルテレビ、町の広報誌				
感想：					

<参加者>ヤイロチョウは見られなかったが楽しかった。参加してよかった。参加者の中には色々な専門の方もあらわれて勉強になりました。ヤイロチョウを色々なやり方で考察していたのでとても楽しかった。自然の中でのウォーキングに癒されました。子どもたちの喜ぶ声に元気をもらいました。自然への解像度を今後も高めて触れ合っていきたいと思えた。など

<スタッフ> 8月16日（土）：昨年に続いて開催したが、常に新しい発見があった。

【実施プログラム】

実施年月日:	令和7年8月17日(日)				
場所:	窪川四万十会館				
日程:	時間	内容	詳細		
8月17日(日)	10時～12時	多目的室で絵画・工作教室	絵画・工作指導 講師: 矢島博		
	12時～13時	ロビーでパネル展の解説	パネル30枚は開催時間中常時展示		
	13時～15時	ホールで学習会や交流イベント	司会: かわいゆうこ ・ヤイロチョウの動画の紹介 案内: 調査員・中西和夫(カメラマン) ・恐竜とヤイロチョウの関係 生物の進化について考えてみよう 案内: 中村滝男 ・ピアノや歌で交流 鳩'sバンド、ピアニスト藤原すずか		
参加人数:	大人 15 名	子供(～17才) 15 名	外部講師 6 名	スタッフ 6 名	合計 42 名
募集地区:	高知県内を中心に全国からも有り 募集対象: 子どもと保護者				
募集方法:	チラシの配布、ホームページなど 参加費等: 無料				
マスコミ等での紹介(あれば):	読売新聞、四万十ケーブルテレビ、町の広報誌				
感想:	<p>&lt;参加者&gt;楽しかった。ヤイロチョウの知られざる生態や貴重な映像、改めて謎が多く、魅力的な野鳥であると感じました。</p> <p>&lt;スタッフ&gt;8月16日と17日の2日間に及ぶイベントだったが、はじめてのイベントということもあり、予想よりも参加者が少なかった。その分、公式ユーチューブで配信して、イベント後も普及効果をあげている。</p>				

活動報告書

番号  
A-10

【団体の概要】

事業名： 第3回KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～  
団体名： 一般社団法人香南市観光協会

【活動の概要】

目的：  
①香南市夜須町羽尾を通る土佐塩の道と大釜荘・長谷寺周辺の美しい自然、海から山へのロケーションを知り体験していただく。  
②参加者及び開催地域の皆さんとの交流を増やし、香南市の地域振興や活性化を図る。  
③香南市の特産品、拠点のヤ・シィパーク、大釜荘・長谷寺を多くの方にPRする。

内容：      ア 森づくり      イ 木使い      (ウ) 森林体験と学習

一般社団法人香南市観光協会（事務局）は、これまで11回続いた土佐塩の道トレイルランニングレースを実施し、土佐塩の道30kmうおーく等のイベントに参加し森林体験を伝えてきました。昨年に続き、ヤ・シィパークを拠点に夜須町羽尾を通る土佐塩の道を活用したトレイルランニングレースを開催しました。

成果：  
長谷寺歴史の道地図に掲載されている古道・香南市夜須町の山と海をつなぐ塩の道徳善往還を知っていただき、「トレイルランニング」として体験することで、夜須町羽尾の景観・豊かな自然・森林についてより身近に感じていただけた。また、往来がなくなってしまった往還道を整備し参加者が走ることで、道を蘇らせることができた。大会前・大会後も夜須町羽尾の山に足を運んでいただき、森林体験をしていただけた。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年10月5日(日)		
場所：	香南市夜須町の山と海をつなぐ往還道とその周辺地域		
日程：	時間	内容	詳細
10月5日	8:00	スタート	ヤ・シィパーク芝生広場スタート→手結内港→真行寺→大峰山(轟神社)→宝田神社→夜須北部クリーンセンター→妙見様→林道城山・羽尾線 境木の碑→羽尾峠→大釜の滝→大釜荘→表参道三十三観音の道→長谷寺観音堂折返し→展望台「そらこや」→塩炊地蔵様(塩の道・徳善往還)→海津見神社→夜須川沿い→ヤ・シィパーク芝生広場フィニッシュ
	10:30	林道入口関門制限時間	
	13:30	展望台「そらこや」関門制限時間	
	15:00	海津見神社関門制限時間	
	16:30	ゴール制限時間	
参加人数：	大人 259 名	子供(～17才) 0 名	外部講師 1 名    スタッフ 132 名    合計 392 名
募集地区：	全国	募集対象：	18歳以上の競技規則・参加誓約書に同意していただける方
募集方法：	HPやSNSにて告知しジャパンレグによるオンライン受付    参加費等：10,000円		
マスコミ等での紹介(あれば)：	高知新聞掲載(2025年10月6日)		
感想：	<p>&lt;参加者&gt;滝の中に入れるのもアドベンチャー感があっていい。地元の応援、エイド食、ゴール後のお弁当、芝生が気持ちよく海を眺めながらの景色は最高でした。海と山、両方堪能できるトレランも珍しく貴重です。</p> <p>&lt;スタッフ&gt;大会準備段階、夜須川の整備から当日の応援などについても、大会を重ねることによって地域の皆さんの理解と協力が浸透していていると感じました。次回も参加したいという方が93%で、より満足度の高い大会となってきている。</p>		

## 活動報告書

番号

A-11

## 【団体の概要】

事業名：「室戸岬周辺の樹木とヤッコソウ観察」

団体名：高知県森林インストラクター会

## 【活動の概要】

## 目的：

子供から高齢者までの幅広い年齢層が、森林の機能、生態を学習できる機会を提供することにより、森林の重要性について理解を深めることを目的として開催した。

内容：ア 森づくり イ 木使い ⊕ 森林体験と学習

室戸岬周辺は、温暖な気候に恵まれていることから亜熱帯植生をはじめ、特異な植生が多く見られる地域である。また、晩秋に見頃を迎える花も多いことから、この時期の森林散策が最適である。さらに室戸岬周辺の金剛頂寺には、国内でも希少な「ヤッコソウ」が分布しており、11月下旬頃に見ごろを迎えることから11月23日（祝）の開催とした。当初27名の申し込みがあったものの、キャンセルにより21名の参加者であった。ツアーでは、室戸市観光協会の専属ガイド4名により最御崎寺駐車場から室戸岬灯台周辺の樹木観察を行った後、室戸岬亜熱帯植物群落の観察を実施しアコウやシオギク、クワズイモなど約50種類の植物を観察した。また、室戸ジオパークについても解説を受けながら見学した。午後は金剛頂寺の境内周辺に分布するヤッコソウを中心に照葉樹林帯の植生を観察した。なお、観察場所については事前に下見を行い、植物の観察リスト&解説資料を作成し、当日配布することで充実した観察会にすることができた。

## 成果：

黒潮の影響を強く受ける高知県の海岸部は、四国内でも特異な植生に恵まれている。これらの生態と地域の持つ歴史的な特徴を体感することにより、森林に触れ親しむ心を育成することができた。

## 【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月23日（祝）				
場所：	室戸岬周辺（最御崎寺～室戸岬灯台～室戸岬岩礁帯、金剛頂寺）				
日程：	時間	内容	詳細		
11月23日	7:30	出発	高知県民文化ホール前		
	7:30～9:30	移動	借り上げバス（中型）		
	9:30～9:45	行事の趣旨、概要注意事項説明	森林環境税、高知県の森林概要、留意事項説明		
	9:45～12:00	亜熱帯植物群落の観察	室戸岬周辺		
	12:20～13:15	昼食、休憩	道の駅キラメッセ室戸周辺		
	13:30～14:30	ヤッコソウ及び照葉樹林観察	金剛頂寺		
	14:45～16:45	移動	借り上げバス（中型）		
	16:45～17:00	振り返り、アンケート記入回収			
	17:00	解散	高知県民文化ホール前		
参加人数：	大人 19 名	子供（～17才） 2 名	外部講師 4 名	スタッフ 4 名	合計 29 名
募集地区：	高知県内		募集対象：一般県民		
募集方法：	チラシ配布、フェイスブック		参加費等：無料		
マスコミ等での紹介（あれば）：	なし				

## 感想：

## ＜参加者＞

- ・森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・良い天候に恵まれ、自然に触れてリフレッシュできた。
- ・樹木や植物の解説が楽しかった。
- ・森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・グループに分けガイド4名とスタッフが丁寧に説明してくれたため十分に堪能できた。
- ・配布していただいた植物リストが参考になった。
- ・国内でも希少なヤッコソウの観察と生態の説明が良かった。
- ・亜熱帯植物のアコウやクワズイモ、海岸植生のシオギクやハマナタマメを観察できた。
- ・講師、スタッフの対応が丁寧であった。

## ＜スタッフ＞

- ・熱心にメモをとる参加者が多かったのが印象的であった。
- ・樹木観察と併せて、歴史や地層などの自然史の解説があると、参加者の満足度が向上する。

活動報告書

番号

A-12

【団体の概要】

事業名： 高知の山の恵みを抽出しよう～植物から抽出したエキスや色素で楽しもう～

団体名： Washi+

【活動の概要】

目的：

「高知の山の恵みを抽出しよう～植物から抽出したエキスや色素で楽しもう～」は、高知の野山に育つ植物の魅力を様々な視点で楽しむことができるイベントです。

高知の山に生えている植物を使い、自分たちで抽出したエキス等でワークショップを行ったり、抽出した色素でアートを描いたり、高知の山に生えている楮を原料とした土佐和紙を使用し作品を作ったりしてもらうことで、普段植物やアートに馴染みのない参加者にも自分の視点で新たな野山の植物の可能性を感じてもらえることを目標にしています。

抽出原料がどのような場所で育ち、どのような特色を持っているのか、アートや食の専門家の説明を聞きながら高知の山の植物について学び体験します。

内容：     ア 森づくり           イ 木使い           ウ 森林体験と学習

参加者が高知に育つ植物から、エキスを抽出しドリンクを作成したり、専門家が抽出した色素で土佐和紙に絵を描くワークショップを主軸に、植物や土佐和紙を使用した様々なアーティストの作品を展示し観覧してもらい、専門家指導のもと植物の多様な利用法を学ぶイベント。

(和紙ランタンは和紙は高知県産の物を数種類用意し、参加者が好きな紙で作れるようにし、和紙を貼り付ける糊もふのりを使用、中の灯り以外は自然の素材で用意した。)

成果：

ササオカミホさんの山の植物を活かした作品を目にする事で「自分ならば何が創造できるか」という考えが自然に参加者達に浮かんで来る様になり、その上で山を守る大切さを伝えることで、参加者が自分たちの住む地域の山の恵みについて改めて考えることとなります。

そして、「山を守るために何ができるか？」を各人が考え、創造力を発揮できる場を提供することは、山と暮らす持続可能な社会を作ることを考える助けにも繋がると考えられます。

また、雑誌等でも取り上げられることが多く、アートや食に関心が高い方が集まるカフェのイクイバレントさんで開催する事により、普段森や山に関心のない県民にもアピールする事が出来た。

佐川町に観光に来ていた方も多く参加してくれ、森や山との接点がない方へのアプローチとして「自分で作れて持ち帰れる+無料」というワークショップは集客としても効果的だと感じた。

また、自分で組み立てる木の枠から絵具や絵を描いて貼り付ける糊まで、ワークショップの材料は植物を使った所も他のイベントと差別化できたと思う。どこで採れたか、採った山はどんな山か等、参加者がそれぞれ自然と興味を持って質問してくれる場になった。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年10月25日(土)		
場所：	イクイバレント(高知市朝倉)		
日程：	時間	内容	詳細
10月25日	11:00	開始	
	随時受付	和紙にアートを描くワークショップ	高知の山の植物から抽出した植物を発酵させたり膠などを混ぜた顔料の色素で和紙にアートを描く
	随時見学可能	アート作品展示	・植物染色家等の作品 ・ササオカミホ 作品

	13:00~15:00	抽出ワークショップ (事前予約 定員10人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽出器を使い植物のエキスを抽出</li> <li>・抽出される間、高知の山の植物の特性と利用法などを学ぶ</li> <li>・お茶をしながら参加者同士で山の植物の活用法と山の現在についてディスカッション</li> <li>・今回のイベント様に考案してもらったイクイバレントさんの特性ドリンクと抽出したエキスのマリアーージュを楽しむ</li> </ul>
	15:00	終了	
参加人数： 大人 18 名 子供(~17才) 1 名 外部講師 2 名 スタッフ 2 名 合計 23 名			
募集地区： 高知市		募集対象： 全年齢対象（小学生以下や作業に不安のある方は付添者が必要）	
募集方法： 其々のイベント媒体での告知と紹介・公共施設でのチラシ配布や高知県在住者向けのイベントサイトへの掲載		参加費等： 無料・抽出ワークショップ1500円	
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想：			
<p>&lt;参加者&gt;草や木からこんな色が取れるの知らなかった。和紙がお花の色を吸ってとてもきれいだった。アーティストさんともお話が出来て、とても素敵なイベントで感性が刺激された。ゆっくりと時間を取り、古いものや身近にあるものを見つめなおすことも必要かもしれない、と感じた。植物からこんなにきれいな色がとれる事をしらなかった。リトリートのように癒しを感じた。</p> <p>&lt;スタッフ&gt;裏山等へ植物を採取に行き、その植物で即興で絵具等を作る試みが好評であった。また、沢山のバリエーションの植物から出来た絵具を用意して頂いたのも、その説明を聞くだけでも参加者はかなり山の植物に詳しくなったのではないかと感じる。ゆったりとした空間で楽しむ、植物の抽出×ドリンクも非日常感があって楽しんでもらえた。</p>			

### 【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年10月26日(日)		
場所：	イクイバレント(高知市朝倉)		
日程：	時間	内容	詳細
10月26日	11:00	開始	
	随時受付	和紙にアートを描くワークショップ	高知の山の植物から抽出した植物を発酵させたり膠などを混ぜた顔料の色素で和紙にアートを描く
	随時見学可能	アート作品展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物染色家等の作品</li> <li>・ササオカミホ 作品</li> </ul>
	13:00~15:00	抽出ワークショップ (事前予約 定員10人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽出器を使い植物のエキスを抽出</li> <li>・抽出される間、高知の山の植物の特性と利用法などを学ぶ</li> <li>・お茶をしながら参加者同士で山の植物の活用法と山の現在についてディスカッション</li> <li>・今回のイベント様に考案してもらったイクイバレントさんの特性ドリンクと抽出したエキスのマリアーージュを楽しむ</li> </ul>
	15:00	終了	
参加人数： 大人 20 名 子供(~17才) 2 名 外部講師 2 名 スタッフ 2 名 合計 26 名			

募集地区：	高知市	募集対象：	全年齢対象（小学生以下や作業に不安のある方は付添者が必要）
募集方法：	其々のイベント媒体での告知と紹介・公共施設でのチラシ配布や高知県在住者向けのイベントサイトへの掲載	参加費等：	無料・抽出ワークショップ1500円
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想： <参加者>彼岸花のエキスが紫色なのを知らなかった。素敵な空間のなかで植物を抽出して工程も待つ時間も楽しめた。外に出て裏山や身近な場所に生えている植物を観察しながら採取できたのが面白かった。講師の方がその場で色を抽出してくれ、特性を教えてくれたのが面白かった。私も高知県の植物を使って仕事をしているので、新しい発見があって面白かった。山の植物から抽出したエキスもとても香りが良くて癒された。 <スタッフ>参加者と話すなかで、ちょうどハロウィンイベントの時期と重なった為、子供の参加者が少ないのかもしれないと感じた。場所柄、アーティストの参加者も何人かいたが、山の植物から採れた沢山の色を見て「山に行ってみないかん」と話していたので興味を持ってくれたと思う。山と森には魅力的な素材が沢山あるので、これを機に目を向けてもらえればなと感じた。			

### 【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月2日（日）				
場所：	名教館（高岡郡佐川町）				
日程：	時間	内容	詳細		
11月2日	13:00～15:30	開始			
	随時受付		高知の山の植物から抽出した植物を発酵させたり膠などを混ぜた顔料の色素でアートを描き、和紙ランタンをつくる （山での採取の方法や抽出方法を講師よりレクチャー）		
	15:00	最終受付			
	15:30	終了			
11月15日	17:00～21:00	「さかわ・酒蔵ロード劇場」にて作品の展示	制作した和紙アートや和紙ランタンを飾り、来場者に見てもらう （掲示物で山の植物や作品の紹介等を記載する等して、自由に）		
参加人数：	大人 <small>14人 （展示50～60人 ほど）</small> 名	子供（～17才） <small>6人 （展示60人 ほど）</small> 名	外部講師 1 名	スタッフ 2 名	合計 23 名

募集地区：	佐川町	募集対象：	全年齢対象（小学生以下や作業に不安のある方は付添者が必要）
募集方法：	佐川町観光協会からの広報・公共施設でのチラシ配布や高知県在住者向けのイベントサイトへの掲載	参加費等：	無料
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想： <参加者>気軽に参加できて楽しかった。木殺しの工程が特に楽しかった。（木枠づくりの工程）普段あまり触れる機会がないので和紙を使った作業が楽しかった。モリリン観ました。こんな風に森林税が活用されているのを知らなかった。子供たちが楽しそうで参加してよかった。自由にのびのびと体験できた。			

<スタッフ>和紙ランタンワークショップは、日程がちょうど佐川の博物館の特別展示と重なり、観光での来場者・地元の参加者等幅広い参加者に楽しんでもらうことができた。凝りだした方は、開始時間から終了時間いっぱいまで山の植物の絵の具で楽しんでくれた。木枠から作製出来て無料、という点が刺さったのか思った以上の集客があったので定員を20名にしてよかったと感じた。また、地元商店の方も高知の山の植物で作った絵具×土佐和紙という事で興味を持って下さり、イベントに合わせて飾りたいと言って下さったので、店頭でも飾らせてもらった。「さかわ・酒蔵ロード劇場」は初めて参加したが、とにかく来客数が多くて驚いた。屋外の夜のイベントで、周りが非常に暗く、灯りが付いている場所に人が一気に入ってくるので、重要文化財の古民家が壊れないように、沢山の方が来ても建物と来場者共に危なくないように、と当初とは展示プランを少し変更したが、おかげで事故もなく無事展示終了を出来た。「さかわ・酒蔵ロード劇場」で高知山や森についてのイベントを開催したら、沢山の方にアピール出来るのではないかと感じた。

活動報告書

番号

A-13

【団体の概要】

事業名： 甫喜ヶ峰フェスティバル2025  
 団体名： 一般社団法人高知県山林協会

【活動の概要】

目的：  
 街の人に森林や自然に興味を持ってもらうため

内容：     ア 森づくり     イ 木使い     ウ 森林体験と学習

森林や木に関する体験コーナー、繁藤災害や防災に関するコーナー等を、地元、関係団体、ボランティア団体等に設置してもらい、来園者に体験してもらう。

成果：  
 雨のため来園者が少なく、予想していた成果を得ることができなかったが、出店団体同士交流をはかっていたが、今後もこのような活動をしていこうと話した。また、県の担当課の職員さんからも、雨で残念だったが出店者間の交流に関してはお褒めの言葉をいただいた。雨天時の対応については、今後どのようにしていくか検討していく。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月9日(日)		
場所：	県立甫喜ヶ峰森林公園		
日程：	時間	内容	詳細
	10:00	開会式	雨のため放送にて実施
		・リース作り体験	自然素材使ったリース作り体験。但し、雨のため場所もなくネイチャーゲーム体験は中止。(甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会)
		・紙などを使ったクラフト作り	牛乳パックグライダーや、紙のプレスレットなど、紙を材料にしたものを中心にクラフト作りを体験してもらった(盛さんご夫婦)
		・昆虫標本作り体験	スズメバチなど珍しい標本作りを通して、自然に関心を持ってもらえる場を提供(舟木翔一)
		・木のおもちゃ遊び	雨のため他のブースを学習展示館内に移したことで、スペースがなく展示館内の端に少し置くだけになった。(甫喜ヶ峰森林公園)
		・ペットボトル風車で発電体験	ペットボトルで風車を作り、発電について学習してもらった(高知県公営企業局)雨のため、学習室で実施。
		・スラックライン体験	雨のため、研修棟の中ではあったが、自然の中で体を動かすプログラムの一つの提案として体験してもらった(トサ・スラックライン)

		・ヨガ体験	雨のため、展示室でヨガ体験を実施。(サーナ・ヨガ)
		・AED使用体験 ・心肺蘇生体験 ・消防服試着写真撮影会	AED使用体験、心肺蘇生体験を通していざという時の対処方法を学ぶ機会の提供。雨のため、煙ハウス、消火体験は中止。(香美市消防本部)
		・白バイ乗車体験	白バイ乗車体験を通して、子どもさんも含め災害や事故について考えてもらえる場を提供(南国警察署)
		・樹木伐採重機乗車体験	雨のため伐採は中止。乗車体験のみ実施。(株とされいほく)
		・飲食物販売	うどん、パン、ポップコーン、おでん、豚汁など、地元住民、ボランティア団体が提供(繁藤婦人防火クラブ、なまだ、ベーカリーカムリ、有志)
参加人数： 大人 300 名 子供(～17才) 200 名 外部講師 2 名 スタッフ 4 名 合計 506 名			
募集地区： 高知県下全域 募集対象： どなたで			
<p>学校チラシ配布、新聞折り込み、ホームページ・Facebook・Instagram 掲載、出店団体によるSNSでの広報</p> <p>参加費等： 各ブースで支払い</p>			
マスコミ等での紹介（あれば）：			
<p>感想：</p> <p>&lt;参加者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨でもできる、屋根のある広いところがあったらいいにね</li> <li>・重機に乗れて楽しかった。ほんとに伐ってるところを見たい。</li> </ul> <p>&lt;スタッフ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨が予想されても延期にできないのがつらい(出店者も忙しく、日程変更は難しいため)</li> </ul>			

活動報告書

番号

A-14

【団体の概要】

事業名： Trail Jamboree in 甫喜ヶ峰 2025

団体名： 一般社団法人高知県山林協会

【活動の概要】

目的：

園内に設けたコースを走ることで、自然に触れ、その大切さや保全について関心を高めてもらう

内容： ア 森づくり      イ 木使い      **ウ** 森林体験と学習

6km、リレー、キッズの3コースを設け、それぞれのコースを走ることで自然を楽しむ

成果：

森林の中を走るというスポーツを楽しみ、リラックスできる。また、同じ走るというプログラムを通して人、親子リレーを通して家族とのコミュニケーションを自然の力を借りてより一層アップできたと思われる。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年12月14日(日)		
場所：	県立甫喜ヶ峰森林公園		
日程：	時間	内容	詳細
前日まで		準備、打ち合わせ	受付名簿、賞状、配布物等
		誘導案内設置、物品搬送等	ロープ張り、注意看板・テント設置等
当日	7:00	駐車場整理	
	8:30	受付開始	名簿チェック、ゼッケン・副賞・リストバンド配布
	9:20	開会式	挨拶、注意事項等説明
	9:30	6kmスタート	各所スタッフ立哨、中間・最後尾スタッフ伴走
	11:00	表彰式	男女各1～3位に賞状・副賞・手作り木のメダル授与
	11:15	リレースタート	3人1チーム(2km/人)、たすきでリレー 各所でスタッフが立哨
	12:00	昼食提供	カレー、スープ
	12:15	リレー表彰式	男子・女子・男女混合・親子各部門1～2位に賞状・副賞授与、各部門1位の3人に手作り木のメダル授与
	13:00	キッズA-1スタート	小学1～3年生(スタッフ先導・最終伴走)各所でスタッフが立哨
	13:20	キッズA-2スタート	小学4～6年生(スタッフ先導・最終伴走)各所でスタッフが立哨

	13:40	キッズBスタート	未就学児(スタッフ先導、その他スタッフ・保護者で誘導・立哨)
	13:50	キッズ表彰式	A-1・2・B各1～3位に賞状と副賞授与、参加者全員に手作り木のメダル授与
	14:00	閉会式	
		片付け	
参加人数： 大人 92 名 子供(～17才) 35 名 外部講師 2 名 スタッフ 6 名 合計 135 名			
募集地区： 高知県下全域 募集対象： どなたでも			
募集方法：	甫喜ヶ峰森林公園HP、 Facebook、Instagram、 JapanReg、みなみえるHP、 ポータルサイトHP	参加費等：	6km：3,000円 リレー：3,000円(1チーム) キッズA-1・2：1,500円 キッズB：1,000円
マスコミ等での紹介(あれば)：			
感想：			
<参加者> 先日は温かいおもてなしをありがとうございました。 お陰様で51歳の初トレイルランニングを怪我なく無事に終える事が出来ました。 また機会があればよろしくお願いたします。(甫喜ヶ峰Instagram)			
<スタッフ> 計測業者からも、他にない子どもから大人まで参加できるアットホームな大会でいいと言われるイベントなので続けていきたい。普段走りに来る来園者も増えた。ただ、経費削減のために参加費を値上げろという意見もあるが、それはせっかく楽しんでもらえているのにしたくない。来年は経費削減のため、昼食を自分たちで用意するのはどうか。昼食を地元の婦人防火クラブに依頼しているのは、地元との連携がすすむためよいがやむを得ない判断だろう。			

活動報告書

番号

A-15

【団体の概要】

事業名： 大月の製炭学習と里山への植栽活動

団体名： 大月町備長炭生産組合

【活動の概要】

目的：

製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキングやどんぐりの収穫体験をすることにより、町内外の方に自然に親しんでもらい、山林や地域産業の理解を進めるとともに、地域内外の交流を促進する。

内容： ア 森づくり イ 木使い **ウ** 森林体験と学習

海と山のお話、製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキング、どんぐり拾い、苗木づくり

成果：

講師先生の「黒潮のめぐみ」の定義や山が担う役割のお話がとても斬新で、参加した全ての方が貴重な知見を高める機会となったと思われる。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月11日(火)		
場所：	大月町西泊地区所有林、炭窯、畑		
日程：	時間	内容	詳細
	9:00~	開会	
	10:00~	ウォーキング、どんぐり拾い	
	10:30~	講師のお話(黒潮のめぐみ)	
	11:00~	植栽	
	14:00~	苗木づくり	
	16:00~	閉会	
参加人数：	大人 15 名	子供(~17才) 21 名	外部講師 1 名 スタッフ 8 名 合計 45 名
募集地区：	県内	募集対象：県内の小中高生、県民	
募集方法：	チラシ、SNS等	参加費等：中学生以上1,000円 小学生500円	
マスコミ等での紹介(あれば)：			
感想：			
<p>&lt;参加者&gt; 黒潮のめぐみのお話が、今まで知らなかったり勘違いしていたことが理解できて貴重なお話でした。</p> <p>&lt;スタッフ&gt; 講師先生のお話が、子どもから大人までとても良いお話でした。幡多農高の生徒さんが少なくなっているようなので、来年度以降の参加者について課題を残していると感じています。</p>			

活動報告書

番号

A-16

【団体の概要】

事業名： にろうのべいす里山環境改善ワークショップ

団体名： にろうのべいす環境改善推進協議会

【活動の概要】

目的：

代表者の先祖が残した高知県香美市香北町葎生野（にろうの）にある山、山裾にある田畑と古民家を土中環境によってつながる一体のものと捉え「にろうのべいす」と呼び、地域の未来世代のために再生する道筋をつくり手渡すことを長期の目的として、里山環境改善ワークショップを行う。このワークショップを高知工科大学の古民家サークルワベールの学生とそれ以外の地域内外からの参加者と共に行い、山から私たちが受けている恩恵について学び、また子供から大人まで誰でも何かしらの方法で参加できる山のお手入れを体験し、「結」の作業を体感することで新しい発見や行動のきっかけへと導く。

内容：      ア 森づくり      イ 木使い      ウ 森林体験と学習

①NPO法人地球守、乗松造園代表乗松正博氏を講師に迎え行うワークショップの1日目は山からつながる古民家まわりの作業を行った。国土交通省0Bの方にご参加いただいたため、午前中は国の政策レベルからの防災や自然再生についてのお話を交えつつ座学を乗松氏と共に行った。山、田畑、住まいの環境のつながりと関わりについて学び、山の改善をすることが実際に住まいの環境を整えるのか、住まいの環境を整えることで山の健康や地域の防災に影響があるのかを学んだ上で実際の作業に入った。

②NPO法人地球守、乗松造園代表乗松正博氏を講師に迎え行うワークショップの2日目は山のお手入れを行なった。1日目に引き続き国土交通省0Bの方にご参加いただいたため、作業の合間に山の中で短い座学を挟みつつ谷筋を整える作業を進めた。

③NPO法人地球守、乗松造園代表乗松正博氏を講師に迎え行うワークショップの1日目は山のお手入れ。前回までの作業の続き、谷筋の手入れを行なった。

④NPO法人地球守、乗松造園代表乗松正博氏を講師に迎え行うワークショップの2日目は1日目に中途半端になった作業を続行するべく山のお手入れにあてられました。

成果：

①参加者の中に国交省志望の学生がいたために、今後の社会に出た際のピンポイントのアドバイスやものやことの見方を教わることができた。これまでにない座学の内容であったので参加者には新鮮な学びとなった。庭まわりの植樹後の草刈りや手入れとこれまでにつくった小川の水の流れの整備、新たな池を掘りマウンドをつくった。

②谷筋の整備が上流に向けて進んだ。倒木の処理も進み、マウンドへの植樹も行なった。

③谷筋の整備が上流に向けて一段上に進んだ。倒木の処理を進め新たな谷の丸太橋をかけた。

④谷筋の整備が上流に向けて一段上に進んだ。丸太橋をかけた段に水の滞りのある場所に水を浸透させる造作を行い、マウンドもつくった。

【実施プログラム①】

実施年月日：	令和7年10月25日		
場所：	にろうのべいす（香美市香北町葎生野978-1付近の民家周り）		
日程：	時間	内容	詳細
10月18,19日	10:00~17:00	事前準備	改善作業に使う竹炭焼き、落ち葉拾い等 2名x2日

10月23,24日	10:00～17:00	事前準備	改善作業に使う道具整理、落ち葉拾い等 1名x2日
10月25日	8:30	スタッフ集合	
	9:00	受付、自己紹介、作業予定の説明	
	09:30～17:00	座学、作業(古民家の庭の手入れ、池づくり、植樹後の手入れ、等)	お昼休憩、小休憩、片付け、まとめの会を含める
	18:00:～20:00	交流会	
参加人数： 大人 10 名 子供(～17才) 0 名 外部講師 1 名 スタッフ 3 名 合計 14 名			
募集地区： 香美市内外		募集対象： 小中大学生、一般	
募集方法： チラシ配布、SNS		参加費等： 小中大学生無料、一般4000円	
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想： <参加者>国交相OBの話がとても興味深かった。 <スタッフ>通常より小規模の開催ではあったが、学生と社会の接点となった点で非常に有意義なワークショップとなった。			

### 【実施プログラム②】

実施年月日：	令和7年10月26日		
場所：	にろうのべいす（香美市香北町葎生野978-1付近の民家周り）		
日程：	時間	内容	詳細
10月26日	8:30	スタッフ集合	
	9:00	受付、自己紹介、作業予定の説明	
	09:30～17:00	作業(道筋の整備、倒木処理、石積み、植樹など)	お昼休憩、小休憩、片付け、まとめの会を含める
参加人数： 大人 9 名 子供(～17才) 0 名 外部講師 1 名 スタッフ 3 名 合計 13 名			
募集地区： 香美市内外		募集対象： 小中大学生、一般	
募集方法： チラシ配布、SNS		参加費等： 小中大学生無料、一般4000円	
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想： <参加者>石積みの作業が上手になった。 <スタッフ>通常よりも小規模での開催ではあったが、国交省OBの方との共同作業は新たな視点をもたらし学びの多いワークショップとなった。			

### 【実施プログラム③】

実施年月日：	令和7年12月13日		
場所：	にろうのべいす（香美市香北町葎生野978-1付近の民家周り）		
日程：	時間	内容	詳細
11月 29,30日	10:00～17:00	事前準備	改善作業に使う竹炭焼き、落ち葉拾い等 2名x2日
12月13日	8:30	スタッフ集合	
	9:00	受付、自己紹介、作業予定の説明	
	09:30～17:00	作業(谷筋の整備、倒木処理、丸太橋掛けなど)	お昼休憩、小休憩、片付け、まとめの会を含める

参加人数： 大人 11 名	子供(～17才) 0 名	外部講師 1 名	スタッフ 2 名	合計 15 名
募集地区： 香美市内外		募集対象： 小中大学生、一般		
募集方法： チラシ配布、SNS		参加費等： 小中大学生無料、一般4000円		
マスコミ等での紹介（あれば）：				
感想： <参加者>初めての一般参加者（67歳）が、当初自分にできるだろうかと心配されていたが、楽しんでくださいました。 <スタッフ>通常より小規模の開催ではあったが、一般参加の方も交えてじっくり作業を進められた。				

#### 【実施プログラム④】

実施年月日：	令和7年12月14日			
場所：	にろうのべいす（香美市香北町葎生野978-1付近の民家周り）			
日程：	時間	内容	詳細	
12月14日	8:30	スタッフ集合		
	9:00	受付、自己紹介、作業予定の説明		
	09:30～17:00	作業（谷筋の整備、浸透対策、マウンド作りなど）	お昼休憩、小休憩、片付け、まとめの会を含める	
	18:00:～20:00	交流会		
参加人数： 大人 12 名	子供(～17才) 0 名	外部講師 1 名	スタッフ 2 名	合計 15 名
募集地区： 香美市内外		募集対象： 小中大学生、一般		
募集方法： チラシ配布、SNS		参加費等： 小中大学生無料、一般4000円		
マスコミ等での紹介（あれば）：				
感想： <参加者>初めての一般参加者（67歳）が、当初自分にできるだろうかと心配されていたが、とても楽しくまた参加したい、とおっしゃってくださいました。 <スタッフ>通常より小規模の開催ではあったが、一般参加の方も交えてじっくり作業を進められた。				

活動報告書

番号
A-17

【団体の概要】

事業名： さくら再生プロジェクト
団体名： 一般財団法人大月町ふるさと振興公社

【活動の概要】

目的： 道の駅大月の公園内にある、大月町政40周年記念に植樹した桜が「テングス病」に感染していることを受け、周辺への感染拡大や今後の健全な樹木管理のため、当該樹木の剪定を行う。ボランティア参加型で実施することで地域住民の森林・自然への関心を高め、剪定作業を通じて、樹木の健康管理や森林保全の重要性について理解を深めることを目的とする。
内容： <b>ア</b> 森づくり      イ 木使い      ウ 森林体験と学習 ・ テングス病に感染した桜の木について、安全に配慮したうえで剪定作業を行った。 ・ 地域住民等のボランティアを募集し、剪定作業補助（枝の運搬・簡易整備など）体験を実施した。 ・ 伐採後には、「こうち山の日推進事業」に関する説明会を行い、参加者の学びと交流の機会を創出した。
成果： ・ テングス病の枝の剪定や薬剤の塗布を行ったことで、周囲の桜への感染拡大防止に一定の効果が見られた。 ・ 地域住民や関係団体が参加するイベントとして実施したことで、参加者同士の交流が生まれ、地域コミュニティの活性化や「こうち山の日」への認知向上に繋がった。 ・ 樹木医の説明や作業体験を通じて、参加者の森林保全への理解と関心が高まり、今後の桜の植樹・保全活動への参加意欲が醸成された。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月11日(火)		
場所：	道の駅大月		
日程：	時間	内容	詳細
11月11日	8:30	受付	
	9:00	開会	主催挨拶、樹木医紹介、樹木整備についての説明・諸注意
	9:15	桜の木剪定	樹木医指導のもと、病気の枝を剪定
	12:00	説明会	森林の役割、森林環境税、こうち山の日推進事業
	12:30	閉会	記念写真、アンケート
12月31日	14:00	グリーンパイル設置	樹木医指導のもと、スタッフが実施
参加人数：	大人 16 名	子供(～17才) 0 名	外部講師 2 名
			スタッフ 6 名
			合計 24 名
募集地区：	高知県全域		
募集対象：	中学生以上		
募集方法：	チラシ掲示、新聞折込、SNS 参加費等：無料		
マスコミ等での紹介（あれば）：	高知新聞		

感想：

＜参加者＞  
・毎年桜が咲くのを楽しみにしているので参加しましたが、思ったより大変な作業でした。来年の春も綺麗に花が咲くことを期待しています。・また次回可能な限り参加させていただきます。・気候もちょうど良く、作業しやすく良かったです。・疲れたがたくさんの参加者と汗を流して桜がきれいになったのは気持ちよかったです。

＜スタッフ＞  
想定していた以上に桜の病気が進行しており、大掛かりな作業になったが、剪定経験がありチェーンソー等も使えるボランティアの方が多く、予定時間通り作業を終えることができた。参加してくれた方の多くは、森林保全への関心が強く、当公園の桜も日頃から気にかけてくれたのが大変有難く、印象的だった。本事業を通して、参加者同士の繋がりができ、森林保全の大切さについて改めて理解を深めることができた。

活動報告書

番号

A-18

【団体の概要】

事業名： 川側からみた森づくり～森に安らい、森に親しむ～

団体名： 公益財団法人四万十川財団

【活動の概要】

目的：

- ①森林で過ごす気持ち良さを体験する。森林を親しんでもらい、森に親しむ人の裾野を広げる。
- ②四万十川流域に点在する「川の達人」や「川に関わる人達」に集まっていただき、川側から見た森づくりを考える機会にする。
- ③作業道に集まる雨水を分散させる事で、森林の水源涵養機能を利用して伏流水・地下水を増やす。

内容：      ア 森づくり      イ 木使い      **ウ** 森林体験と学習

- ①まずは、森で食べたり、飲んだり、おしゃべりしたり、楽しく過ごした。その後、チェアリングで森に関する読書やスケッチを楽しみ、最後に苔テラリウムでそれぞれの「理想の森」を作った。
- ②カードゲーム「moritomirai（モリトミライ）」を行いながら、森林に関する“あるある”の課題を疑似体験し、解決に向けてみんなで考えた。ゲームを通して得た気づきや学びを発表してもらい、その成果をグラフィックレコードとして残した。
- ③森林に張り巡らされた作業道に「水切り」を設置した。

成果：

- ①森に親しむ人が増える。今後の森づくりの仲間や協力者につながる。
- ②森についての知識や、暮らしとのつながり、多様な立場の人と協力することの大切さを学ぶ事ができた。良い森とは何か、川にとって良い森づくりとは何かを考えるためのキッカケが得られる。グラフィックレコードとして残った成果を多くの人に見てもらえる。
- ③作業道に起因する土砂流出が減り、作業道に集まる雨水を分散させる事で、伏流水・地下水を増え、四万十川の水量・水温・成分の安定につながる。

【実施プログラム①】 森に親しむ～チェアリングと苔テラリウム～

実施年月日：	令和7年11月9日(日)				
場所：	四万十町 久木の森山風景林				
日程：	時間	内容		詳細	
	11:30	スタッフ集合・受付			
	12:00	まずは、森でお弁当を食べよう			
	13:00	チェアリング・「森の図書館」			
	15:00	苔テラリウム～理想の森～			
	16:00	閉会			
参加人数：	大人 14 名	子供(～17才) 3 名	外部講師 1 名	スタッフ 4 名	合計 22 名
募集地区：	高知県全体		募集対象：どなたでも		
募集方法：	SNS、えこらぼ、新聞広告		参加費等：1人1,000円		
マスコミ等での紹介(あれば)：	がんばれ高知 eco応援団				
感想：					

＜参加者＞※アンケートより抜粋

・森と川の場所にたくさんの方がいて楽しく過ごさせてもらいました。  
・あんな素敵な森があることを知れて良かったです。苔や花について教えてもらって、実際にみんなで探してもって歩いたのが楽しかったし勉強になりました。また行きたいです。  
・イベントとなると、時間を詰め込みすぎて満足に体験時間を確保できないことも多いですが、終始ゆったりとした余裕のある時間配分で、活動の内容に合う落ち着いた時間を過ごすことができました。身近にある環境ではありますが、触れる機会の少ないものが他にもあると思うので、そういったものを多くの人に伝えていただきたいと思います。素敵な環境で素敵な体験、満天のイベントでした。運営お疲れ様でした。

＜スタッフ＞森や自然とじっくり向き合う時間の尊さを改めて感じました。幅広い層の人々が一緒に参加でき、世代や立場を超えて“自然に親しむ機会”を共有できたことも、このイベントの大きな意義だと感じています。

【実施プログラム②】 川側からみた森づくりを見つけよう！

実施年月日:	令和7年11月28日(金)				
場所:	四万十川財団事務所 会議室				
日程:	時間	内容		詳細	
	13:30	スタッフ集合・受付			
	14:00	開会挨拶・主旨説明			
	14:15	カードゲーム(moritomirai)			
	16:00	気づきと学びのシェアリング			
	17:00	閉会			
参加人数:	大人 14 名	子供(~17才) 名	外部講師 4 名	スタッフ 2 名	合計 20 名
募集地区:	高知県全体		募集対象: どなたでも		
募集方法:	SNS、えこらぼ、チラシ		参加費等: 無料		
マスコミ等での紹介(あれば):					
感想:	<p>＜参加者＞※アンケートより抜粋</p> <p>・川の変化や魚の変化、また環境保全に対してもっと関心をよせてほしい。山が川を守り人々の生活を物心両面からささえているので。 ・全国を旅行しますが、高知に帰って来ると、高知の森はきれいな方だと、時々思っています。</p> <p>＜スタッフ＞カードゲームを通して、各分野が共同していかなければ、バランスがとれた森づくりは進んでいけないことが自ずと理解できた。またグラフィックレコードに残す事で、今後の森づくりに活かす材料ができた。</p>				

【実施プログラム③】 伏流水・地下水を増やそう！～森づくりfor四万十川～

実施年月日:	令和7年12月15日(月)				
場所:	四万十市佐田の山林				
日程:	時間	内容		詳細	
	8:30	スタッフ集合・受付			
	9:00	開会挨拶・主旨説明			
	9:20	水切り設置作業			
	12:00	閉会			
参加人数:	大人 6 名	子供(~17才) 名	外部講師 2 名	スタッフ 1 名	合計 9 名

募集地区： 高知県全体	募集対象： どなたでも
募集方法： SNS、えこらぼ、チラシ	参加費等： 無料
マスコミ等での紹介（あれば）：	
感想： 〈参加者〉※アンケートより抜粋 ・ 手間をなるべくかけずに、でも、環境も大事にしつつという考え方が勉強になりました。 ・ 山の手入れの仕方を、より自然に近い形で考えている宮崎さんの話や、今回の伏流水の取り組みで民家に近い裏山などでの作業時の注意点など、とても勉強になりました。経過観察や検証は必要ですが、山にも、川にも良い事が少しの手間と時間でできたのもっとたくさんの地域の人や、子どもたちに体験してほしいなと思いました。 〈スタッフ〉クワで溝を作り、そこに丸太を埋めるだけなので、どんな方でも気軽に始められる森づくりのひとつだと感じた。講師がいろいろな解説を加えながら出来たので、勉強になりました。	

活動報告書

番号

A-19

【団体の概要】

事業名： 高知家モリモリプロジェクト2025

団体名： 高知県青年団協議会

【活動の概要】

目的：  
 ① 若い世代が気軽に森・山に携わり、森・山や環境について関心を持つ機運を高め、具体的な関わりを持つきっかけを竹林整備事業を通じて高めていく。  
 ② 県内各地を回りながら継続して実施し、各地の自伐林業家の方の思い・考え・実践にふれ、林業を通じた“自立”心を育む。  
 ③ 将来的には各地で竹林整備に携わるチームを立ち上げ、多くの若者が事業を通じて得たノウハウを基に、それぞれの地域で竹林整備事業を行う（主体的に地域に携わる流れを作る）。

内容：      ア 森づくり      イ 木使い      ウ 森林体験と学習

[対象] 高知県内各地の青年層・大学生  
 [内容] 県内2か所（高知市・土佐市）

\* 座学)

- ・ 持続可能な森づくりへの思い・考え・実践について学ぶ（第1回）
- ・ 竹林整備事業を通じた高知県の森・山の現状を知り考える（第2回）

\* 実践)

- ・ 竹の伐採・搬出（第1回・2回）と竹炭づくり（第1回）

成果：  
 ・ 若い世代に多く参加してもらうことで、担い手の少ない森・山に、関わる・関心を持つ・自分事として捉え行動する・高知県内の豊かな自然を次世代に残す足がかりとなった。  
 ・ 若い世代が自分たちが暮らす地域の森・山に関われるノウハウを身に着けることができた。  
 ・ 森や山に関わる・関心のある人脈を広げることで、担い手不足解消の一步となった。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月30日（日）		
場所：	高知市入定地域の竹林、入定公民館		
日程：	時間	内容	詳細
	10:00～11:45	オープニング/実践①	参加者自己紹介/竹の伐採
	11:45～13:45	実践②/昼食	竹でご飯炊き
	13:45～15:00	座学	持続可能な森づくりについて
	15:00～16:30	実践③	竹炭づくり
	16:30～17:00	エンディング	振り返り
参加人数：	大人 12 名	子供（～17才） 0 名	外部講師 3 名
	スタッフ 8 名	合計 23 名	
募集地区：	高知県内		
募集対象：	老若男女		
募集方法：	SNS・募集チラシの配布		
参加費等：	1人1,000円		
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想：			
<参加者>：			

竹杯整備といった大変そつなイメージが強かったが、竹炭やこぼんを炊ける等、活用の仕方次第で可能性がとても広がった。

<スタッフ>

・参加者と一緒になって、竹林の新たな可能性や、今後は親子で体験教室を開催しよう！等イメージが膨らんだ。

### 【実施プログラム】

実施年月日:	令和8年1月17日(土)				
場所:	土佐市新居地域の竹林(土佐市新居4801)				
日程:	時間	内容	詳細		
	10:00~11:00	オープニング・座学	自己紹介・県内の森林について学ぶ		
	11:00:~12:30	実践	竹の伐採		
	12:30~13:30	休憩・昼食			
	13:30~14:30	グループワーク	竹を活用したまちづくりワークショップ		
参加人数:	大人 10 名	子供(~17才) 0 名	外部講師 1 名	スタッフ 7 名	合計 18 名
募集地区:	高知県内		募集対象: 老若男女		
募集方法:	SNS・チラシ配布		参加費等: 無料		
マスコミ等での紹介(あれば):					
感想:					
<参加者>					
・竹を伐採した後の、地面に光が差す様子に感動しました。想像していたよりも、簡単に倒すことができ、地域方々のも喜んでくれて嬉しかった。					
<スタッフ>					
・若者座談会、ワークショップで、若い世代として森づくりにできることの見解を出し合えたことがよかった。若者はきっかけが無いだけで、関心を持てる機会を今後さらにつくりたい。					



募集方法： 学校にチラシ配布、広報誌、HP、観光協会	参加費等： 大人500円、小人250円
マスコミ等での紹介（あれば）：	
感想： 〈参加者〉※アンケートより抜粋 ・ 普段、時間にとらわれることなく自然を感じる事が少ないため、今回参加できて大変良かったです。 ・ 子供たちが自然の中で元気に動き回っているのを見て元気をもらいました。たき火を囲んでみんなで食べ物（キノコ汁、餅、しいたけ）は、とてもうまかったです。 ・ 色々な植物や野鳥も見えて楽しかったです。 ・ 不思議な光る草も発見出来たこともあり、余計に楽しかった。子供も大人も外に出るべきですネ！日々、発見！！  〈スタッフ〉大人も子供も森の中を楽しんでいて良かったです。キノコ鍋や焼き芋、餅や椎茸も皆さんおいしく食べられました。	

活動報告書

番号

B-1

【団体の概要】

事業名： 中土佐町大野見萩中環境保全植栽事業

団体名： 林業女子会@高知

【活動の概要】

目的：

中土佐町は、四万十川の上流に位置する山々に囲まれた台地と、港や市場でにぎわう海岸部からなる小さな町です。2008年に「more treesの森」として認定されたこの森では、伐期を迎えたため皆伐が行われ、林業女子会@高知のメンバーも一部作業に参加しました。「伐ったら植える」という基本に立ち返り、植栽によって森林の再生を図り、環境保全へとつなげます。また、植栽には地域住民にも参加していただくことで、地域交流の機会となり、森林や林業への理解を深めるきっかけにもなります。人と森、人と人がつながる場として、森づくりを地域全体で支える取り組みをします。

内容：地拵え・植樹面積：0.16ha

活動年次：1年目

植樹した樹種・本数：ヒノキ・160本

- ・植樹前日11月1日地拵えの事前準備を行った。
- ・植樹当日11月2日は講師を招いて、造林の仕事についてや森林環境保全についての簡単な講話や植樹方法の説明を行い、グループに分かれて植樹を行った。
- ・植栽木の食害を防ぐため、保護具を設置した。

成果：

大野見萩中地区の方を中心に、女子会メンバーの紹介で参加された一般の方も多く、地域の顔が見える植樹となった。萩中の方の中には下刈りや除伐、間伐の経験はあるが「植えるのは初めて」という声もあり、伐って植える、そして植えた責任をもって次世代へつなげていく意識を共有できた。参加者は意欲的に作業に取り組み、地域の温かさと自然への思いが感じられる活動となった。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月1日(土)		
場所：	集合場所：町立萩中集会センター 現場：高知県中土佐町大野見萩中寺元1372		
日程：	時間	内容	詳細
R7年11月1日	9:00~14:30	地拵え	集合後、乗り合わせで現場へ。 参加者：団体メンバー名8名、一般参加1名
参加人数：	大人 1名	子ども(～17才) 名	外部講師 名
			スタッフ 8 合計 9名
募集地区：	大野見萩中地区/高知県全域		
募集対象：	どなたでも		
募集方法：	森と緑の会HP、SNS掲載、大野見地域にチラシの配布と声掛け		
参加費等：	なし		

【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月2日(日)		
場所：	集合場所：町立萩中集会センター 現場：高知県中土佐町大野見萩中寺元1372		
日程：	時間	内容	詳細
R7年11月2日	8:30	スタッフ集合	参加者：外部講師2名、団体メンバー名8名、一般参加21名
	9:00	集合 挨拶	乗り合わせで移動

	9:30	現地で植樹・ネット設置方法を説明	
	10:00	植樹・単木ネット設置	
	12:00	終了	挨拶 写真撮影
		スタッフのみで単木ネットの設置の続き	
		設置確認	
	15:00	解散	
参加人数： 大人 17 名   子ども(～17才) 4 名   外部講師 2 名   スタッフ 8 合計 31 名			
募集地区： 大野見萩中地区/高知県全域 募集対象： どなたでも			
募集方法： 森と緑の会HP、SNS掲載、大野見地域にチラシの配布と声掛け 参加費等： なし			
マスコミ等での紹介（あれば）： 高知新聞 朝日新聞			
感想：			
<p>&lt;参加者&gt;初心者でも参加できる内容でした。時間的にも参加しやすかった。木の成長携われることに感動した。</p> <p>&lt;スタッフ&gt;実際の林業の現状や大切さを知る（感じる）機会になったと思う。地域の方の参加により、長い時間をかけて森林があることや、人の手によって昔は手入れをして、管理をしていたことがとても実感しました。</p>			

活動報告書

番号

C-1

【団体の概要】

事業名： みどりの活動

団体名： 東川内子ども会緑の少年団

【活動の概要】

目的：

- ①東川内の子どもたちが自然とふれあい、集団での活動を通じて生きる力や郷土愛を育むことを目的に緑の少年団を結成し、その少年団の活動として、季節を感じ、体験を通して学ぶ。
- ②東川内の子どもたちが木の温かみやものづくりの楽しさを体験する。冬のイベントを通じて地域交流を促進する。

内容：

- ① 土佐和紙についての学習(植物と水と人の手から生まれる和紙について歴史や作り方等)、和紙を使用したお面作り
- ②使用する木材について学習、講師と一緒に各自クリスマスツリーを作成

成果：

- ①完成したお面は個性豊かで、作品を通して自然素材の魅力を実感することができた。参加した子どもからは「和紙って木からできちゃうが?」「なんかいつもの紙と違う」と声もあり、学びに繋がった。また再利用できることの説明もあり、切れ端等を捨てずに集めてくれ森林資源の大切さを体験を通して学べた。
- ②クリスマスツリーづくりを通して、身近にある木を使うことでものづくりの楽しさを学べた。また、ものを大切に作る心の成長にも繋がった。イベントは親子だけでなく、年代の違う子たちの交流にも繋がり、交流の機会となった。

【実施プログラム①】

実施年月日：	令和7年10月26日(日)		
場所：	東川内公会堂		
日程：	時間	内容	詳細
10月26日	9:00	会場準備(机だし、換気等)	当日までに子どもたちで会場飾りつけ
	10:00	開会の挨拶	こうち山の日推進事業について説明
	10:10	土佐和紙の原料等の説明	
	10:20	お面づくり・写真撮影	
	12:00	アンケート記入 閉会	
参加人数：	大人 9 名	子供(～17才) 13 名	外部講師 1 名 スタッフ 5 名 合計 23 名
募集地区：	東川内 募集対象：東川内子ども会緑の少年団		
募集方法：	グループライン ポスター 参加費等：なし		
マスコミ等での紹介(あれば)：			
感想：			
<参加者>			

(子ども)・和紙が木からできることが分かった。・習字の紙みたいだった。・和紙に普段触れることがなかったので楽しかった。・楽しかった、またしたい。・ハートの形を和紙で作れて嬉しかった。・ハサミではなく水切りがおもしろかった。・マントも作れて嬉しかった。手が汚れるのが嫌だった。

(大人) 普段和紙を触ることがないのでいい貴重な機会になった。和紙の良さを感じた。和紙について子どもと学べて良かった。楽しかったし、和紙の良さに改めて気が付いた。

<スタッフ>・参加保護者のうち、担当の団長と副団長以外は森林環境税については知らなかったという回答であった。

### 【実施プログラム②】

実施年月日:	令和7年12月21日(日)				
場所:	東川内公会堂				
日程:	時間	内容	詳細		
12月21日	9:00	会場準備(机だし、換気等)	当日までに子どもたちで会場飾りつけ		
	10:00	開会の挨拶	こうち山の日推進事業について説明		
	10:10	木の説明 管理方法等			
	10:10~	ツリー作り・写真撮影			
	12:00	アンケート記入 閉会			
参加人数:	大人 4名	子供(~17才) 14名	外部講師 1名	スタッフ 3名	合計 22名
募集地区:	東川内		募集対象: 東川内子ども会緑の少年団		
募集方法:	グループライン ポスター 参加費等: なし				
マスコミ等での紹介(あれば):					
感想:	<p>&lt;参加者&gt;</p> <p>(子ども)・楽しかった。・きれいに作れて嬉しかった。・絵の具が難しかった。・お母さんにあげたい。・絵の具で好きに色塗りできて楽しかった。・組み立て式のが良かった。・大事にしたい。・家に飾りたい。</p> <p>(大人)子どもと作れて良かった。またしたい。家ではできないので助かる。国産の木で作れるのがすごい。他の世代の子と交流できるし、子どもが小さいので近くでやれるのがとても助かる。親のほうを作るのに夢中になっていました。</p> <p>&lt;スタッフ&gt;・参加保護者はお面づくりの時や案内時に森林環境税について説明していたので全員「知っている」という結果でした。</p>				

## 活動報告書

番号

C-2

### 【団体の概要】

事業名： 学校林を活用した自然学習

団体名： 米奥小学校緑の少年団

### 【活動の概要】

目的：

地元の自然の豊かさを知り、自然と共生する方法を学ぶ中で、郷土愛を育む。

内容：

・ 11月15日

講師の指導の元、児童、保護者、地元の方々に学校林内の散策と巣箱かけを行う。  
シダ飛ばし等をして楽しむ。山頂の東屋の状態など学校林の様子を知る。

・ 2月14日

11月に採取し殺菌した巣を触り、巣が何から作られているか知る。新しく設置した巣箱の観察。山頂へ行き、東屋解体後の様子を見る。林道を下りながらイノシシの道などを観察。木の伐採を見学し、丸太こいのぼりとなる丸太の皮はぎ体験。苗木のスクールステイ。河原の清掃活動およびごみの分別作業。

成果：

学校林で巣箱の観察や巣箱かけなどを行うことによって、自然の営みにふれ、身近にいる生き物について考える機会となった。また、山の状態を知ることによって、山が人によって守り育てられていることを知る機会となった。苗木のスクールステイを行うことによって、自分たちで苗木を育て、自然を守っていく気持ちを高める機会となった。シダ飛ばしやたいまつ体験など、山に関わった楽しさを体験することができた。

### 【実施プログラム】

実施年月日：	令和7年11月15日(土)、令和8年2月14日(土)		
場所：	四万十町立米奥小学校、学校林		
日程：	時間	内容	詳細
11月14日	16時～	活動の最終打ち合わせ	現地の状態確認、活動内容確認
11月15日	13時30分～	集合、開会あいさつ	校長あいさつ、注意事項の説明など
		講師あいさつ	講師：村上智之
	～15時30分	学校林へ移動、活動	巣箱の観察、巣箱かけ、木へ名札付け、木の名前調べ等
	17時～17時30分	たいまつ体験	一斗俵沈下橋に設置されたたいまつの間を歩いて渡った
1月24日	8時～12時30分	学校林の整備	東屋の解体、林道の整備
1月25日	8時～12時30分	学校林の整備	林道の整備
2月14日	9時45分～	集合、開会あいさつ	校長あいさつ、注意事項の説明など
		講師あいさつ、巣の観察	講師：村上智之、11月に持ち帰り殺菌した巣を観察

	～12時	学校林へ移動、活動	巣箱の観察、山頂を經由して林道を下り体験場所へ移動、伐採見学、丸太の皮はぎ体験等
	13時15分～14時	スクールステイ	植樹祭の説明、どんぐり植え
	14時～14時40分	河原の清掃活動	学校下の四万十川の河原の清掃
参加人数： 大人 20 名   子供(～17才) 15 名   外部講師 1 名   スタッフ 9 名   合計 45 名			
募集地区： 米奥小学校		募集対象： 学校運営協議会等への案内	
募集方法： 学校運営協議会等への声掛け 参加費等： 無し			
マスコミ等での紹介（あれば）：			
感想：			
<p>&lt;参加者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巣箱を持って登るのは大変だったけど、登りきれてよかった。巣箱を木にかけるのが難しかった。できている巣をみるのがワクワクした。</li> <li>・イノシシが通る道が見れて良かった。</li> <li>・いっぱいどんぐりを植えてよかった。生えてくるのがたのしみだなあ。</li> <li>・ゴミがあんまりなかった。毎年ゴミが減っているからいいと思った。</li> </ul> <p>&lt;スタッフ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巣箱かけは保護者も多数参加してくれ、親子の交流が図れた。</li> <li>・2月14日に、保護者に先回りして伐採見学場所での準備等をお願いしたところ、「子どもといっしょに行かなくていいのか」と尋ねられた。後で考えると保護者は子どもといっしょに学校林の山頂へ行きたかったのかなと想像した。そう思ってくれる保護者に感謝したい。</li> <li>・学校林の整備に地域の方が多数参加してくれた。シダを刈り、邪魔な木を伐ると、狭く感じていた林道が広がり、歩きやすくなった。</li> </ul>			

活動報告書

番号
C-3

【団体の概要】

事業名：「いこいの庭」づくりと花植え活動  
 団体名：長岡小学校緑の少年団

【活動の概要】

<p>目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の用水路や水田、本校の「いこいの庭」（ビオトープを含む）の植物や生き物に親しむ活動（事前の活動を含む）を通して、地域の自然環境を大切にする態度を育成する。</li> <li>・「いこいの庭」の花壇の手入れなどの学校緑化活動を通して、学校の景観を向上させ、環境教育の場を創出するとともに、学校や地域の人に樹木や花の美しさを楽しんでもらうことで、学校や地域をより魅力的な場所にする。</li> </ul>
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いこいの庭」（ビオトープを含む）の植物や生き物の早春の様子を観察した。</li> <li>・「いこいの庭」の土を掘り起こして腐葉土を混ぜ、耕した後、花を植えた。</li> <li>・「いこいの庭」を修繕したことや生活科や総合的な学習の時間・休み時間等における「いこいの庭」の活用方法等について、オンライン集会で全校児童にPRした。</li> </ul>
<p>成果：</p> <p>ビオトープでは、冬の厳しい寒さの中でも、コガタノゲンゴロウ・ミズカマキリ・ヌマエビ・メダカなどの観察ができた。ビオトープの改修により、生き物がより過ごしやすい環境づくりができたことや花の植えつけができたことで、児童は活動を支えてくださっている方への感謝の気持ちや生き物への関心を高めることができた。取組や学びの成果をオンライン集会において全校児童に発表することができた。</p>

【実施プログラム】

実施年月日：	令和8年2月3日、19日、24日、25日、26日、27日				
場所：	南国市立長岡小学校「いこいの庭」				
日程：	時間	内容	詳細		
2月3日	10:20～10:40	樹木・植物・生物の観察	・植物、生物の生育具合や冬の様子を観察 ・修繕前の庭の状態を確認(管理方法を検討)		
2月18日	9:00～16:00	委託作業	・ビオトープの水抜き、清掃(生き物は水槽へ)		
2月19日	10:20～10:40 13:00～13:20	交流学习	・講師による児童への説明・助言(質疑・応答)		
2月21日	9:00～16:00	委託作業	・ビオトープの改修		
2月24日	13:00～13:20	花植作業	・「いこいの庭」に花を植えた ・ビオトープに生き物をもどした		
2月25・26日	10:20～10:40 13:00～13:20	オンライン集会の準備	・画像や発表原稿の準備		
2月27日	12:40～12:50	活動発表(オンライン集会)	・取組の成果を全校児童に知らせた		
参加人数：	大人 0 名	子供(～17才) 5 名	外部講師 2 名	スタッフ 1 名	合計 8 名
募集地区：	南国市立長岡小学校		募集対象：長岡小学校児童		
募集方法：	6年生の5名により活動を行い、オンライン集会にて全校児童に発表する。		参加費等：なし		
マスコミ等での紹介(あれば)：					
感想：					
〈参加者〉					

私たちが4年生のときに考えてつくった「いこいの庭」のビオトープを改修していただいてうれしい。今年度、「いこいの庭」では、クヌギのドングリやモミジの紅葉、ビオトープのゲンゴロウなどを下級生に親しんでもらえた。来年度も、季節ごとの植物の変化や生き物の様子を見に来てほしい。「いこいの庭」を大切にしていってほしい。

<スタッフ>

6年生が4年生のときに庭造りでお世話になった造園業者の方に、本年度も改修というかたちでご協力をいただき、児童が地域への感謝の気持ちを高める活動となった。オンライン集会で、6年生の思いや願い・「いこいの庭」の魅力等を下級生に伝えることができた。次年度以降、「いこいの庭」を活用して環境教育の充実につなげていきたい。

活動報告書

番号

C-4

【団体の概要】

事業名： 五感で楽しむ自然体験

団体名： 久礼田小緑の少年団

【活動の概要】

目的：

- ・自然との触れ合いや五感を活用した多様な体験で、子どもたちの持つ感性を伸ばす。
- ・集団活動を通じて、団結力や粘り強く取り組む精神を養う。

内容：

- ・自然の恵み木のよさを生かした椅子づくり（どうぞのいす）体験を行う。
- ・高知県の森林の現状や森林整備の必要性を学ぶ。

成果：

- ・生き物の生態や森林のことについて、いろんなことがつながっているということに気づくことができた。
- ・木工制作では、友達と協力しながら楽しく自分の椅子を作ることができた。木を使った椅子や、制作の時に使用した机も木で作られていて、木工製品の木のぬくもりを感じることができたと思う。

【実施プログラム】

実施年月日：	令和8年2月25日(水)				
場所：	南国市立久礼田小学校体育館				
日程：	時間	内容	詳細		
前日(2月24日)	16:00	下見、準備、打合せ			
当日(2月25日)	8:40	開会、挨拶			
	8:50	森のお話、椅子づくり			
	11:30	ネイチャーゲーム			
	12:00	閉会			
参加人数：	大人 名	子供(~17才) 15 名	外部講師 3 名	スタッフ 2 名	合計 20 名
募集地区：	なし		募集対象：	なし	
募集方法：	なし		参加費等：	無料	
マスコミ等での紹介(あれば)：					
感想：					
<p>&lt;参加者&gt;                      ネイチャーゲームも楽しかったし、森林のお話も知らなかったことがありおもしろかった。自分の椅子ができて、うれしかった。</p> <p>&lt;スタッフ&gt;                      子供たちが素直に話を聞き、木工制作にもまじめに取り組んでくれた。作業中も楽しそうに協力していたし、完成した椅子を大事に持ち帰る姿も見られて、よかったと思った。</p>					

活動報告書

番号
C-5

【団体の概要】

事業名： 高知県の自然環境と生態系について学ぶ  
 団体名： 東又小学校緑の少年団

【活動の概要】

<p>目的：                  当校ではビオトープを活用した学習を実施しており、環境と生き物のつながり等について体験的に学んでいる。                  今回の活動では、「自然共生サイト」として認定されている四万十市トンボ自然公園および学習施設を見学し、高知県の自然環境や生物多様性の保全などについて理解を深める。</p>
<p>内容：                  日本有数のトンボの生息地にある、トンボ自然公園内の博物館を見学し、トンボをはじめとする水辺の生き物や自然環境、生態系についての理解を深めるとともに、自然を守ることの大切さを学ぶ。                  ・とんぼ館とさかな館で構成された博物館の見学。                  ・チームによるクイズラリー。                  ※雨天のため下田公園芝生広場でのレクリエーションは中止し学校で行った。</p>
<p>成果：                  ・トンボに関する資料や、豊富な標本と生態写真に触れることで、身近で貴重な植物や動物に興味・関心を深めることができた。                  ・ふるさとの自然に愛着を持ち、これからも自然を大切にしていきたいという意欲を高めることができた。</p>

【実施プログラム】

実施年月日：	令和8年2月27日(金)		
場所：	・トンボ自然公園 ・四万十市立下田小学校		
日程：	時間	内容	詳細
2月27日(金)	10:00~11:00	トンボ自然公園 博物館の見学	
	11:30~12:00	昼食	
	12:00~12:50	全校レク	
参加人数：	大人 13 名	子供(～17才) 71 名	外部講師 名 スタッフ 名 合計 84 名
募集地区：	なし	募集対象：	なし
募集方法：	なし	参加費等：	無料
マスコミ等での紹介(あれば)：			
感想：			
<p>&lt;参加者&gt;                  ・見たことがない魚や学校のビオトープでは見たことがないトンボや生き物がいて、高知県や四万十川にはたくさんの魚が生息していることが分かった。                  ・アカメや鮎など貴重な魚や水生生物がいつまでも生息できる、美しい四万十川であって欲しい、美しい自然をこれからも守っていきたい。</p>			
<p>&lt;スタッフ&gt;                  ・ビオトープで見たことのあるトンボと見たことのないトンボの違いについて考えることができる児童もいた。                  ・トンボ自然公園に行ったことがない児童が多く、四万十川で生息している水生生物に興味深く見学していた。                  ・施設の職員がクイズラリーを実施してくれ、クイズの中にでてくる生き物を熱心に調べ、探すことができた。</p>			